

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	国語Ⅱ A
科目基礎情報					
科目番号	22001	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科	対象学年	2		
開設期	1st-Q	週時間数	4		
教科書/教材	『精選 論理国語』『精選 古典探求 漢文編』(明治書院)、「常用漢字の標準演習 改訂版」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)				
担当教員	薄井 信治, 赤迫 照子				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 文章や詩歌の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(定期試験) 常用漢字の読み書きができる(小テスト) 問題の考え方や解き方を身に付ける(定期試験、口頭試問、評論文読解演習、小テスト) 漢文や漢詩の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(定期試験) 漢文や漢詩、漢語についての質問に答えられる(口頭試問、定期試験) 授業レポートを指定の形式で書ける。(レポート) 					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	口頭試問に9割以上正答できる。	口頭試問に8割以上正答できる。	口頭試問に7割以上正答できる。	口頭試問に5割しか正答できない。	
評価項目2	小テストに8割以上正答できる。	小テストに7割以上正答できる。	小テストに6割以上正答できる。	小テストに5割しか正答できない。	
評価項目3	授業レポートを指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。	授業レポートを指定の形式と字数で書ける。	授業レポートを指定の形式で書ける。	授業レポートを提出できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	現代文では、検定教科書を用いて、評論文を重点的に読むことで、論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、思考する力を高めていく。漢文では、検定教科書を用いて、詩文の読み方に習熟することで、日本語と日本語の文章に対する感覚を養う。				
授業の進め方・方法	教科書本文の読解をし、内容理解の確認のために口頭試問を行う。				
注意点	教科書とノートをお忘れなく持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができず、口頭試問点が減点になる。 漢文は非常に完成度の高い人工言語である。そして訓読漢文は日本人が血肉としてきたものである。訓読することで、省略されることの多い主語や目的語が分かり、品詞や時制が分かるようになる。日本語は、いつ、どこで、だれが、といったことを曖昧なままで使うことができる言語である。そんな日本語にとって、訓読漢文は外してはならない芯なのである。訓読漢文に親しみ、読めるようになって、日本語の力を向上させて欲しい。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 評論1・①②	「いのちのかたち」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる	
		2週	評論1・③④	「いのちのかたち」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる	
		3週	故事・寓話①②	「塞翁馬」「五十歩百歩」を読むことで、訓読漢文の読み方を確認する。	
		4週	評論2・①②	「『間』の感覚」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる	
		5週	評論2・③④	「『間』の感覚」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる	

		6週	思想①②	「孟子」「荀子」を読み、古人のものの見方や考え方を理解できる。
		7週	思想③④	「孟子」「荀子」を読み、性善説と性悪説について意見を述べることができる。
		8週	定期試験 試験返却と解説	試験解説により、問題の解き方の理解を深める。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前3,前6,前7,前8
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8	

評価割合

	試験	小テスト	レポート	口頭試問	合計
総合評価割合	60	15	15	10	100
知識の基本的な理解	40	5	5	5	55
思考・推論・創造への適応力	20	10	10	5	45